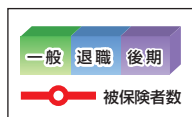
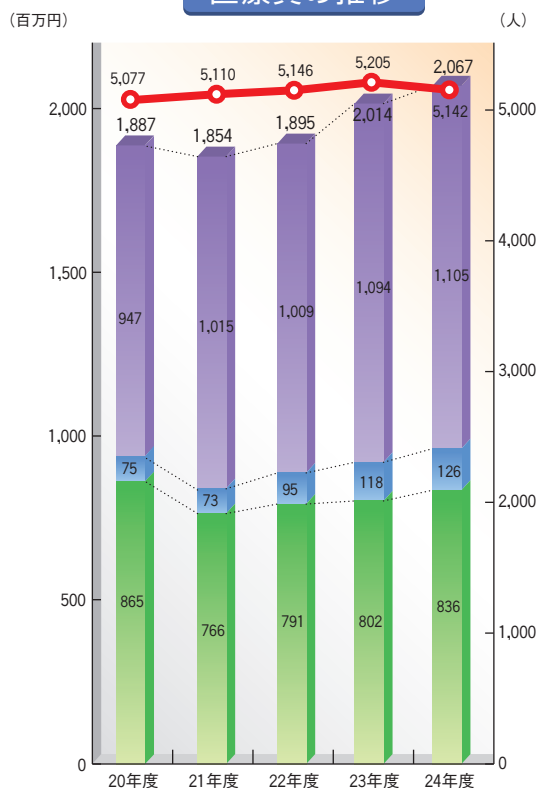


市 貝 町

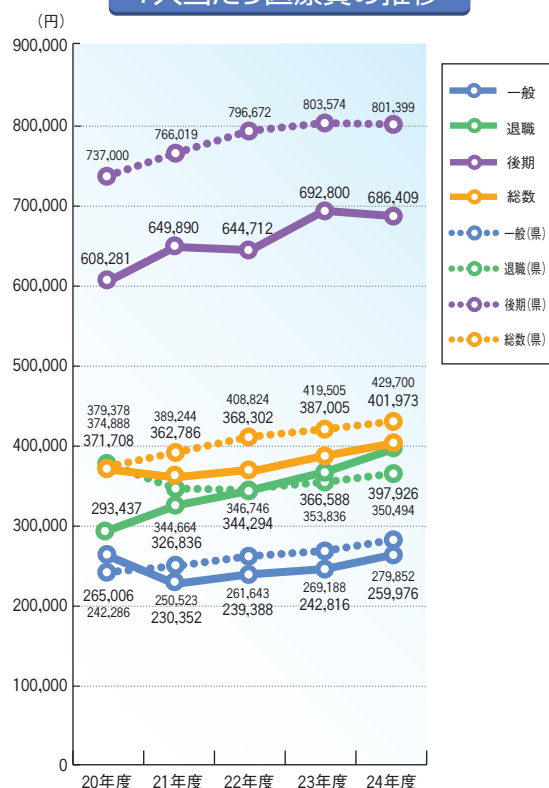
市貝町



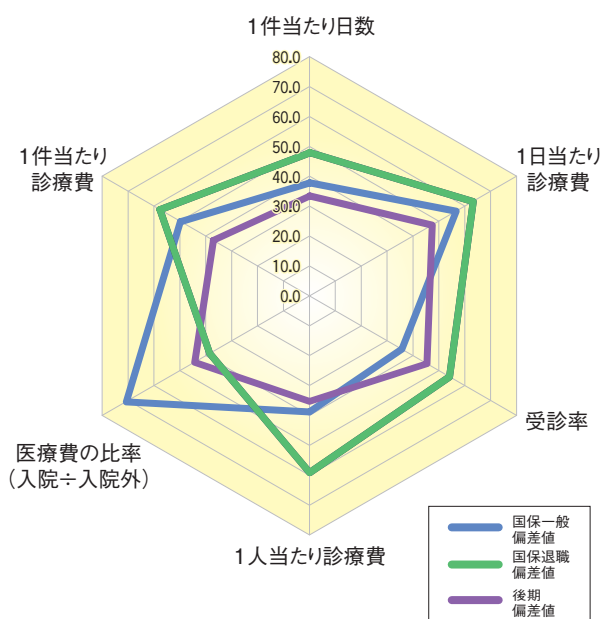
医療費の推移



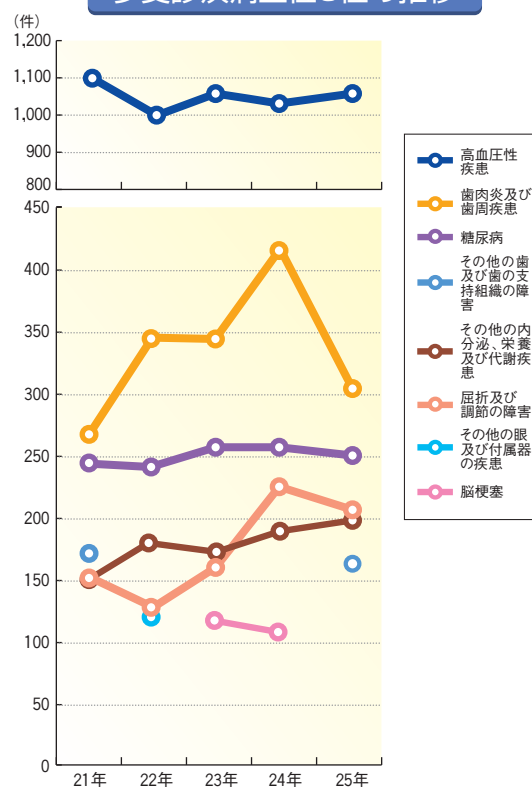
1人当たり医療費の推移



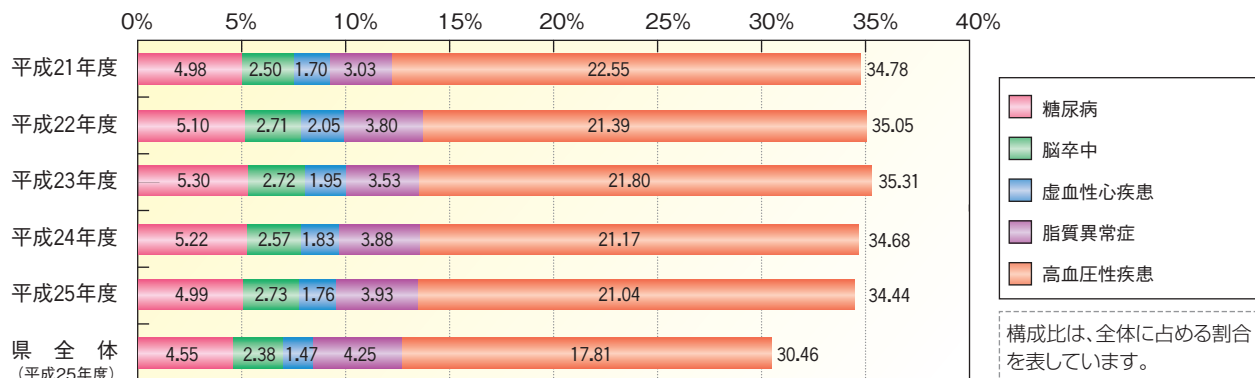
平成24年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)



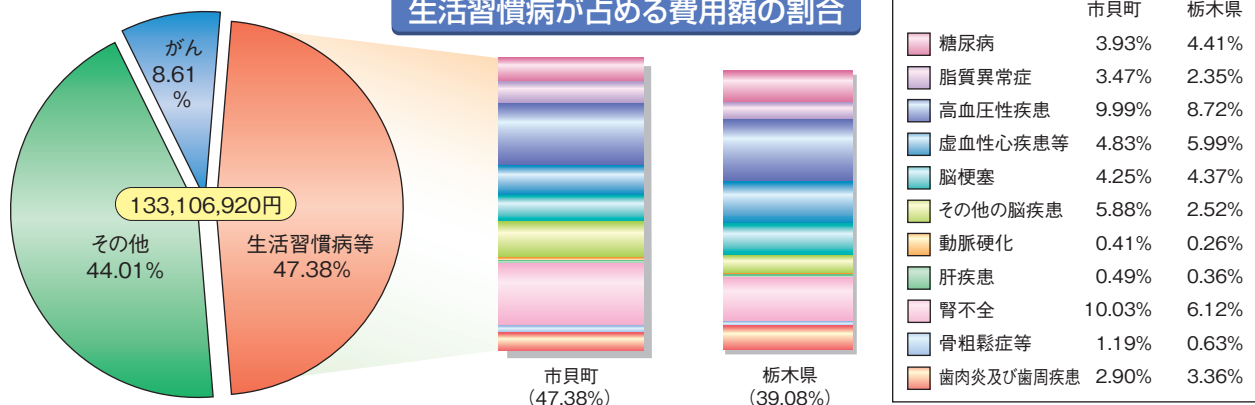
多受診疾病上位6位の推移



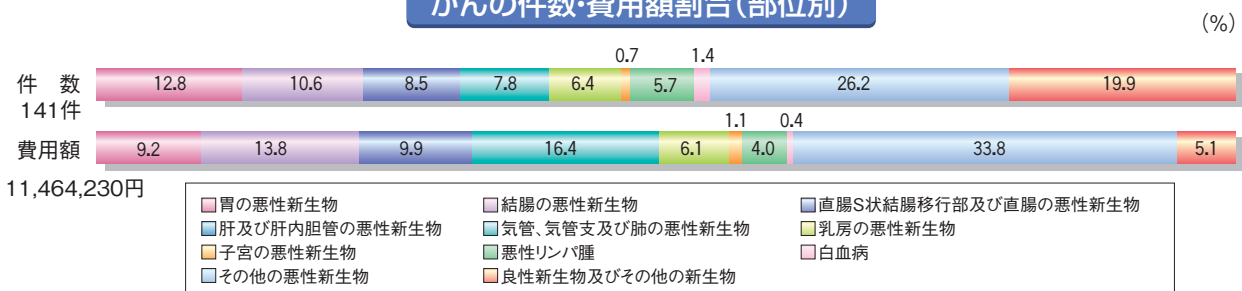
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



市貝町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般836,083千円(104.2%)、退職125,745千円(106.2%)、後期1,105,118千円(101.0%)で、全体では2,066,946千円(102.6%)と増加している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は5,142人で、内訳は一般3,216人、退職316人、後期1,610人である。前年度比較すると全体で98.8%と減少している。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は401,973円(14,968円増)、一般は259,976円(17,160円増)、退職は397,926円(31,338円増)、後期は686,409円(6,391円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1件当たり日数はいずれの法別も平均を下回っており、後期はいずれも低い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも5位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、平成21年と比べると件数で1.3倍、費用額で1.7倍に増加している。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症以外の構成比は県全体よりも高い。

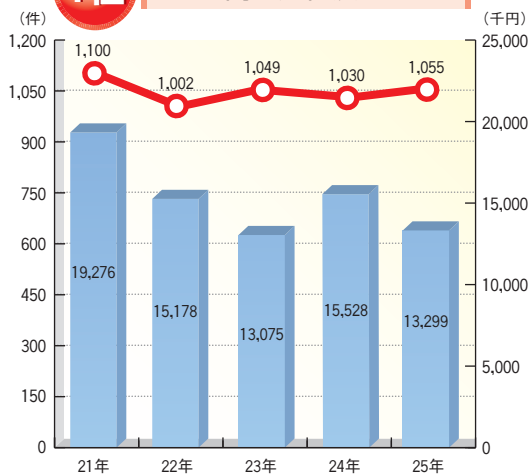
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が133,106,920円で、がんが8.61%、生活習慣病関連が47.38%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全10.03%、高血圧性疾患9.99%、その他の脳疾患5.88%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では気管、気管支及び肺の悪性新生物の割合が高くなっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

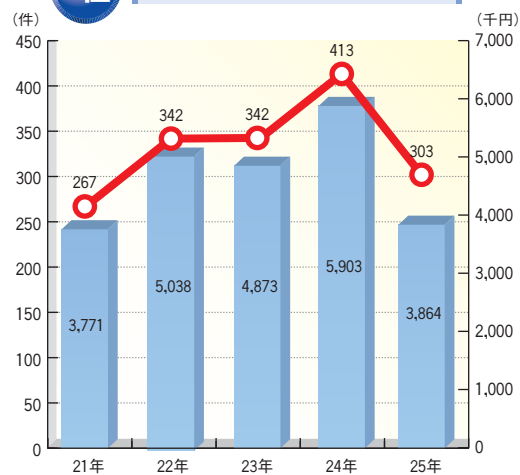
1位

高血圧性疾患



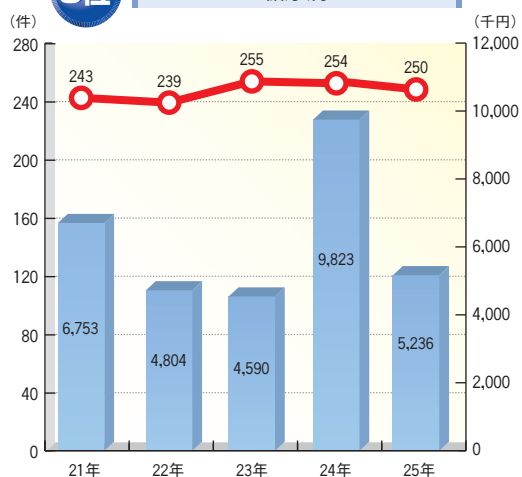
2位

歯肉炎及び歯周疾患



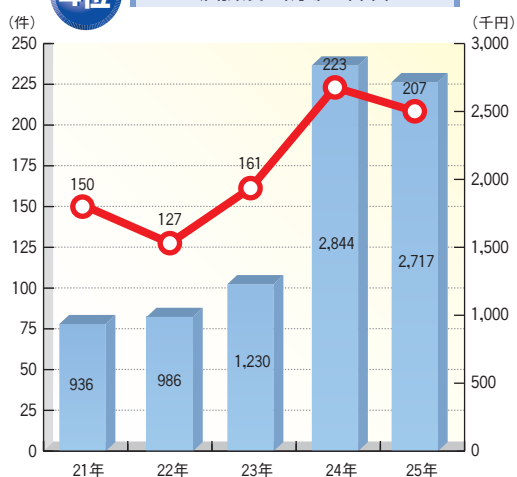
3位

糖尿病



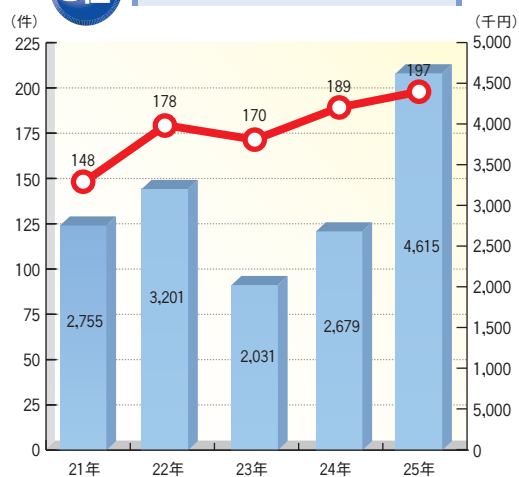
4位

屈折及び調節の障害



5位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

